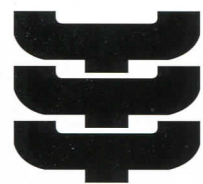


平成21年3月



米沢市文化財年報

No. 21

文化財愛護シンボルマーク

米沢市教育委員会



▲史跡上杉治憲敬師郊迎跡保存修理工事「羽黒神社本殿」

＜屋根の解体風景＞

埋 蔵 文 化 財 事 業

本年度、埋蔵文化財に関する発掘届及び分布調査の依頼を受けたのは、平成21年2月28日現在で27件です。分布調査によって発掘調査を実施した遺跡はありませんでしたが、六郷地区に新規の遺跡を確認しました。

○石田遺跡「米沢市六郷町一漆地内」

当遺跡は、砂利採集に伴う試掘調査により発見された新規の遺跡です。川西町との境界に近い水田地帯に位置し、周辺には神社やお寺がある地域です。

今回試掘を実施した場所は、区画整理をしていないことが新規発見の要因のひとつに挙げられます。遺跡範囲は、南北200m、東西100mと推測され開発範囲の一部も含むことから関係者と協議した結果、開発範囲の遺跡範囲については、現状保存することになりました。

試掘範囲からは、溝状遺構1基、土壇2基が検出されました。遺物はこれらの遺構を中心に整理箱で3箱分の土器類が出土しました。時期は10世紀の平安時代に相当し、硯の破片も認められることから注目される遺跡です。遺跡発見届けを山形県教育委員会に提出しその後に関係者にも通知しました。遺跡登録番号はI-669です。

○東部地区の分布調査

戸塚山に分布する古墳群は、松食い虫の被害を受け伐採された松木の野積みに伴う作業によって、掘削を受けた箇所があります。これらの実態を把握する旨の指導が19年度に県文化遺産課よりありました。

今回は、古墳に影響を及ぼしたと見られる金ヶ崎古墳群のM34号墳周辺と山崎古墳群M178号墳周辺の確認調査を実施し、M34号墳は40m四方に8段の石段を配する横穴式古墳の可能性が指摘されています。金ヶ崎古墳群は、戸塚山幼稚園が所在する背後の山麓に45基が分布しています。

今年度は、測量調査を中心に実施し、作成したものを図示しました。次年度は、崩落した箇所についての調査を計画しています。

山崎古墳群は戸塚山の東側に張出した地域にあり、7基で構成する中期古墳と推測されてきました。今年度は、周溝に2箇所の試掘を実施し、この調査によって土師器片の他に縄文時代の遺物も出土しました。

これらの報告を受けて、9月24日に文化庁の坂井文化財主任調査官が金ヶ崎古墳群M34号墳を視察され、律令国家成立と発展に重要な意義をもつ古墳群との評価を受けました。

今後も国・県の指導を仰ぎながら市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）を活用し調査を行い、基礎資料の把握に努めていきます。

○南部地区の分布調査

通称「斜平山丘陵」一帯を中心として実施し、中、近世の墳墓と想定される塚3基を確認しました。確認した場所は、愛宕神社の西側山麓及び北側の山麓であり、前者は2基、後者は1基です。塚の周辺には、携帯電話の中継アンテナが建設されていますがこの建設による塚への影響はありませんでした。



▲戸塚山金ヶ崎古墳群M34号墳全景
(東部地区の分布調査中心地)



▲石田遺跡分布調査風景
(重機を使用したトレンチ調査)



▲山麓から斜平山を望む
(南部地区の分布調査中心地)



▲石田遺跡出土置物
(土師器・須恵器の土器類で平安時代の遺物)

一般文化財事業

史跡 上杉治憲敬師郊迎跡保存修理事業

「羽黒神社・普門院」は、9代米沢藩主上杉治憲公（鷹山）が師細井平洲先生を迎えた史跡として広く知られています。

史跡の管理は所有者に委ねられてきましたが、史跡の大半を占める茅屋根の葺き替えや老朽化によって生じるき損等が増加したことから、本市教育委員会は昭和62年度から国指定史跡管理補助金を計上し、保存等の指導を行ってきました。

平成14年以降は降雪による大規模なき損が相次ぎ、抜本的な対策が必要になってきたため、史跡の恒久的な保存管理を図るには史跡の保存修理が不可欠と判断しました。

平成18・19年度の2カ年で史跡の具体的な保存修理及び管理計画策定を報告書にまとめ、その計画に沿って、今年度より「史跡上杉治憲敬師郊迎跡保存修理事業」として羽黒神社本殿に着手しました。本殿に関しては、平成23年度までの4カ年計画で、事業すべての終了は平成33年を予定しています。14年という長期に亘る事業であり、関係各位のご協力をお願い申し上げます。

重要有形民俗文化財 行屋2号棟・3号棟の修繕

江戸時代中頃から戦前まで、男子が15歳になると成人の儀式として、または豊作の祈願のために飯豊山、出羽三山に参拝する山岳信仰が盛んにおこなわれていました。参加者は、登拝前行屋と呼ばれる小屋で21日間（時代が進むと数日間に減りました）家族と離れて生活し、水垢離をとり、精進潔斎する行を行った場所です。指定を受けた行屋は3棟で（財）農村文化研究所が所有し米沢市が管理しています。

行屋は、六郷町西藤泉の（財）農村文化研究所の敷地内に2棟（1号棟・2号棟）、伝国の杜の南側に1棟（3号棟）あり、このうち2号棟については部材の一部工事を含む補修工事、3号棟は茅屋根の葺き替えの修繕を実施しました。

県・市指定史跡、天然記念物の説明板の設置・修繕

県指定は2箇所、市指定については2箇所の総計4箇所について、損傷が大きい説明板を対象に修繕をおこないました。

これらに加え新規に設置した箇所としては、市指定史跡の「直江石堤」があります。以前にあった場所に加えて新たに南側駐車場に設置しました。

今後も説明板については修繕や新規の事業を継続して行きます。説明文については、解り易い文章を心がけています。



▲行屋 2号棟修復状況



▲行屋 2号棟茅葺状況



▲行屋 2号棟完成検査



▲行屋 3号棟修復状況



▲羽黒神社本殿工事覆屋



▲羽黒神社骨組状況

区 分	平成20年度の重点	平成20年度の主な事業報告
1 文化財共通	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の記録 ○文化財に関する諮問機関の開催 ○文化行政推進大会への参加 	<p>「米沢市文化財年報」 No.21の発行</p> <p>平成20年度米沢市文化財保護審議会の開催 (第1回目H20.7.23 第2回目H21.3.12)</p> <p>全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会参加</p>
2 一般文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査 ○文化財の保護 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○無形民俗文化財後継者の促進 	<p>文化財保護審議会の委員による米沢市文化財総合調査の実施</p> <p>特別天然記念物「カモシカ」の保護</p> <p>市指定天然記念物「ホテル」及び市指定天然記念物「吾妻の白猿」保護調査</p> <p>文化財防火デーの趣旨に則り登録文化財「吉亭」の防火訓練及び登録文化財「米沢女子高等学校」、米沢市指定文化財「笹野観音堂」における消防設備点検の実施</p> <p>重要有形民俗文化財「行屋2号棟・3号棟」の茅屋根の葺き替え</p> <p>国指定史跡の管理に係る補助</p> <p>史跡上杉治憲敬師郊迎跡保存修理事業の開始</p> <p>説明板の整備</p> <p>国指定史跡「一ノ坂遺跡」並びに市指定史跡「戸塚山古墳群」、「谷地河原堤防（直江石堤）」等の環境整備の実施</p> <p>県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊」保存会への補助</p>
3 埋蔵文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集と周知 ○調査報告書の作成 	<p>「市内遺跡」詳細分布調査の実施（東部、南部地区）</p> <p>開発事業に際する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における土木事業前の試掘調査の実施</p> <p>米沢市埋蔵文化財調査報告書第96集の作成</p> <p>綱木獅子踊り調査報告書の作成</p>

発行 米沢市教育委員会
〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号
教育管理部文化課 文化財担当
TEL 0238-21-6111 内線7530, 7531
FAX 0238-21-6020